

# とっとり 市議会 だより

## 6月定例会のあらまし

6月定例会を6月7日から24日までの18日間にわたって開催しました。

本定例会では、市長から平成25年度一般会計補正予算など、17議案が提案されました。主なものとして、ファシリティマネジメント推進事業、消防ポンプ車格納庫建設事業、地域コミュニティ支援事業、雇用創造戦略推進事業、砂の美術館駐車場整備事業、鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例などについて審議を行い、全議案とも原案のとおり可決・同意しました。

また、一般質問には29人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

No.162

平成25年

6月  
定例会号



委員会視察報告……………10ページ

議会改革検討委員会……………12ページ



明日も大きく咲く

(鳥取市 谷口里美さん 提供)

議会に関するご意見・お問い合わせ

鳥取市議会事務局

〒680-8571 鳥取市尚徳町 116 番地 TEL (0857) 20-3343 FAX (0857) 20-3049  
E-mail: gikai@city.tottori.lg.jp

表紙作品を募集しています。詳しくはP12をご覧ください。

# 6月定例会 一般質問

6月定例会では、29人の議員が質問を行いました。本誌では、各議員の質問の中から、それぞれ1項目についての質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、議事録の全文は8月下旬より市議会ホームページから閲覧できますのでご利用ください。

各個質問	P2 ~ P9
くらし・まちづくり	P2 ~ P4
市庁舎	P4 ~ P5
教育	P5 ~ P6
農林水産業	P6 ~ P7
福祉・健康	P7
環境	P7 ~ P8
行財政改革	P8
経済・雇用	P8
国際交流	P9
安全・安心	P9

## くらし・まちづくり

### 全国都市緑化フェアと協働のまちづくりについて



森本 正行 (新)

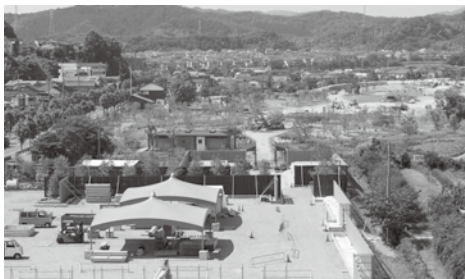
**問** 全国植樹祭に続いて本年9月には本市で全国都市緑化フェアが開催される。主会場となる湖山池公園の整備の進捗と「水と緑豊かなガーデンシティ鳥取」の実現に向けた市民との協働

のまちづくりについて尋ねる。

**答** (都市整備部長) 湖山池公園お花畑ゾーンでは、

英国人ガーデンデザイナーのポール・スミザー氏監修によるナチュラルガーデンのほか、この会場だけで見られない展示やイベントなどを計画し、工夫を凝らした整備を進めている。また、湖山池の周辺も、三津地内竜ヶ崎の河川管理道が昨年完成し、湖山池をより身近に感じられるようになっていく。

(市長) 今後、様々な分野



整備が進む全国都市緑化フェア会場



緑化フェアロゴ

で地域の美化や緑を大切に  
する取り組みが地域の皆さん  
とともに積極的になされる  
よう、制度の整備、見直し、  
充実に努めていきたい。

### 動物愛護について



桑田 達也 (公明党)

**問** 「国の偉大さ、道徳的發展はその国における動物の扱い方でわかる」とはガンジの言葉だが、我が国は生体販売、飼育できないペットの殺処分や譲渡のあり方などの現状から「動物愛護後進国」と言われている。

**答** (市長) 動物愛護団体の方々と連携しながら市民の認識を高め、先進都市と言われるような取り組みを進めていきたい。

(教育長) あらゆる教育活動を通じ、命あるもの全てを大切に教育を進めており、動物を飼ったら最後まで責任を持って大事に育てる心や態度も育てている。殺処分の現状については、子どもの発達や心情に配慮しながら学ばせることが大切であると考えている。



収容所で飼い主を待つ犬

### まちづくりにおける城下町の遺構・歴史遺産の活用について



太田 縁 (無所属)

**問** 鳥取城跡の保存・活用には、イベントだけではなく、ぜひとも教育的な視点を含めて取り組む必要があると考える。城跡整備も歴史まちづくりの一環であり、城跡整備だけを進めれば、まちがはずんでしまう危険性もある。歴史まちづくり全体について、関係諸団体及び市民との合意を形成するため、どのように取り組んでいるか尋ねる。

**答** (教育長) 鳥取城跡の整備を進める中で、事業の趣旨や内容を関係者や市民に説明し、その意見を反映することは欠かせない。計画の周知に当たっては、全体を説明するだけでなく、個別の課題を説明することも重要であり、一方的な説明にならないよう、市民や地元、関連団体と対話する形で進めたい。

教育的視点に基づく取り組みとしては、例えば久松小学校の6年生を対象に、鳥取城の歴史について授業を行うなどしている。

## まちづくり協議会 LIONS



金谷 洋治  
(清和会)

**問** 平成20年度からスタートしたまちづくり協議会の現状は、県・市の補助制度を活用して事業を進める地域がある一方、積極的な動きが見られない地域もあり、差が開くばかりである。本市の均衡ある発展のため、協議会の役員が意見交換などを行う研修を行う考えがあるか、また協議会への支援の見直しについて尋ねる。

(市長) まちづくり協議会が活動を始めてから一定期間が経過し、様々な新しいニーズが地域で起こっている。協議会への支援について改めて検証を行い、見直しを検討することが来年度に向けての課題と考える。



散岐地区が取り組む「花いっぱい運動」

## 都市計画LIONS



高見 則夫  
(清和会)

**問** 鳥取駅南部地域は、新興住宅地、医療機関、福祉施設などが集積し、生活の利便性が高いため人口が集中している。市街化区域と

現行の市街化調整区域を緩和し、効率的な土地利用で、農業の多面的機能を活かすガーデンタウン構想のモデル地域として、開発可能区域の拡大を行うべきと考えるが市長の所見を尋ねる。

**答** (市長) 鳥取駅南部地域では交通基盤も整ってきており、地域の特性を生かした、住みよい緑豊かなまちづくりを進めたいと考えている。叶工業団地の用途地域見直しについては、地域の意向を踏まえながら前進するようにしたい。

また、市街化調整区域では地区計画制度を活用して既存集落のコミュニティ維持等を目的とした土地利用計画を立てることも可能であり、農業と調和した集落の形成もできる形での地区計画の推進も考えていきたい。

※用途地域  
都市計画法により市街地における土地利用の純化を目的に12種類が定められている。  
※地区計画  
都市計画法に規定されている

建築物の建築形態、公共施設その他の施設の配置等からみて、一体としてそれぞれの区域の特性にふさわしい態様を備えた良好な環境の各街区を整備し、開発し及び保全するための計画。

## 地籍調査LIONS



山田 延孝  
(新)

地域の実情を考慮し地域の声に耳を傾けながらバランスのとれた取り組みを進め、着実に調査実施の面積を増やし進捗率を上げていく必要がある。しかし、多大な経費と人手を要する事業であるため、創意工夫を重ね、長期的な視野に立った計画的な推進を図りたいと考えている。

**答** (市長) 平成25年度の特色としては、人員体制の強化が挙げられる。地域振興のための推進員を増員し、新たに配置した4名のうち3名は総合支所において空き家活用や農家民泊、特産品販路開拓等の業務に従事している。



山中での地籍調査

**問** 平成25年度鳥取市中山間地域対策強化方針の特色を尋ねる。また、同方針においては中山間地域対策強化関連事業の具体的な達成目標がなく、現在設定されている6つの評価指標だけでは適正に評価することが困難である。今後見直しが必要と考えるがどうか。

**答** (市長) 平成25年度の特色としては、人員体制の強化が挙げられる。地域振興のための推進員を増員し、新たに配置した4名のうち3名は総合支所において空き家活用や農家民泊、特産品販路開拓等の業務に従事している。

取り組みの評価指標については、今後、中山間地域対策強化関連事業での成果を評価する指標も設けるなどの見直しを行い、中山間地域活性化の取り組みについて、的確に評価していく必要があると考えている。

## 中山間地域の活性化について



谷口 秀夫  
(公明党)

## 本市の文化芸術の振興推進について



入江 順子 (新)

**問** 本市の芸術家、作家の中には、国内だけでなく世界で活躍している人も多い。市としてこれらの芸術家等のような支援をしているか尋ねる。また、美術館設置の取り組みも推進すべきと考えるが、関連して中心市街地活性化のため空き店舗活用対策として、「街なか美術館」を市民との協働で実現できないか尋ねる。

**答** (企画推進部長) 本市の芸術家への活動支援として、平成25年4月から「鳥取市文化芸術事業に関する補助金」に項目を加え、本市の文化芸術活動を海外に発信する事業に助成することとした。

**問** 市長が提案説明で示した市庁舎整備の考え方は、住民投票の結果を尊重した「現本庁舎耐震改修」ではなく、住民投票の結果を無視したものである。住民投票後、市長は「結果を尊重する」と言ったが、そのことをいつ撤回したのか。

**答** (市長) このたび示した基本的な考えはあくまで

## 市庁舎

### 市庁舎整備について



伊藤 幾子 (共産党)

たつき台として示したものであり、現時点で市庁舎に求められる機能や役割を認識し、必要性、緊急性、合理性を念頭に置いて考えていかなければならないという理解のもとで示したものである。住民投票そのものを否定したり、無視したりということではなく、1つの重要な要素として考慮しながら、示している。住民投票後に様々な検証もなされておき、住民投票こそ全てだというような議論をするわけにはいかなないと考えている。

**問** 市長が提案説明で示した市庁舎整備の考え方は、防災、市民サービスを考え、鳥取駅周辺に新庁舎を整備したいのは理解できた。しかし、本庁舎をどこに置くのか、つまり本庁を移転するため市議会の3分の2以上の賛成が必要と特別多数議決を必要とするのか、判断としないが、市長の考

**答** (市長) 今回の提案説明で基本的な考え方を示したとおり、現在の本庁舎などの既存の庁舎については、庁舎機能の全体的な配置、費用、まちづくりなどの観点から適切な活用について検討を進める。と基本的な考え方を示したものの。

### 市庁舎について市長の考え方



中島 規夫 (清和会)

**問** 今議会の提案説明により、市庁舎に関する市長の基本的な考え方は、防災、市民サービスを考え、鳥取駅周辺に新庁舎を整備したいのは理解できた。しかし、本庁舎をどこに置くのか、つまり本庁を移転するため市議会の3分の2以上の賛成が必要と特別多数議決を必要とするのか、判断としないが、市長の考

**答** (市長) 今議会の提案説明で基本的な考え方を示したとおり、現在の本庁舎などの既存の庁舎については、庁舎機能の全体的な配置、費用、まちづくりなどの観点から適切な活用について検討を進めることとしている。本庁の中枢管理機能を移転することになれば、市議会の3分の2の賛成による議決が必要になるが、これは、庁舎整備推進本部や議会での議論、市民の意見をと踏まえて、今後策定する全体構想の中で判断すべきと考えている。

### 市庁舎問題について



橋尾 泰博 (結)

**問** 今議会の提案説明で市長が表明した市庁舎整備に関する基本的な考え方は、現在までの経緯を無視したもので、市長がいくら理屈を言っても住民投票で否定された旧市立病院跡地への新築移転案の蒸し返しである。

## 住民投票結果に 対する認識と市 の責任について



角谷 敏男  
(共産党)

**問** 以前、市長は本会議で「今の時点の民意が民意だ」「民主主義の基本は民意だ」と言ったが、市長は住民投票を無視も否定もしていないと主張したままで、今回の提案を少なくないお金と時間をかけてこれから進めることを市民は認めるのだろうか。謙虚に勇氣を持つ

て市民に信を問うことが先決ではないかと考えるがどうか。

**答** (市長) 住民投票後の検討や意識の変化、専門委員会での議論、意識調査結果を踏まえ、今の基本的な考え方を提案している。

住民投票で酌み取るべき民意として、費用を抑制するといった市民の意識を重視しながら、全体構想をまとめ、実現に向けた様々な取り組みを進めていくことが、私に与えられた使命であると考える。

## 市庁舎整備について



砂田 典男  
(新)

**問** 市庁舎の機能として防災機能の占める役割は大変重要だと考える。災害はいつ発生するか誰にも予測す

ることが出来ず、想定外の猛威をふるうのが自然災害である。市長は、防災機能を充実強化するため旧市立病院跡地において整備を検討すると述べているが、現在地では難しい理由があるのか尋ねる。

**答** (市長) 第1に、災害対策上、十分な屋外スペースが確保できないこと。第2に、埋蔵文化財調査が必要であるため、防災機能を

緊急に整備することができないこと。第3に、本庁舎を使用しながらの工事となるため、その間の災害対策に対応できないこと。第4に、工事期間中は大幅に駐車場が不足することなど、現在地での整備は多くの課題がある。これらを踏まえ、防災拠点は旧市立病院跡地に整備することが、総合的によいと判断した。

## 西地域の中学校のあり方について



田中 文子  
(共産党)

**問** 西地域の3中学校の統合は、気高中、青谷中2校を改築すると膨大なお金がかかるという市の財政事情

から急浮上したのではないかと考える。子どもの安全安心のためにも気高中、青谷中の改築をすすめることが今一番求められている。地理的にも中山間地の活性化からも住民の反対が強いことから、3校の統合は現実的ではないと考えるがどうか。

**答** (市長) この問題は、まず教育的観点からの議論が必要だと考えている。教

育委員会を中心に、地元の方々の声を十分集約して中学校の今後の方向性を示すことが非常に重要だと考える。

また、学校の有無にかかわらず、中山間地域対策は施策を充実させる必要がある。この議論はまだ継続中であり、こうあるべきだとか、申し上げる段階ではないと考える。

**問** インターネットは、今や私たちの生活と切り離せなくなり、ネットのできる機器はどんどん進化しており、新しいトラブルも次々と発生している。

ネット上でのいじめなどは、学校現場で全てを把握することは困難と考えるが、どのように関係機関と連携を図り、対策を講じるのか尋ねる。

**答** (教育長) 関係機関との連携については、警察連絡制度による警察との連携等のほか、鳥取県ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会、NPO法人等の専門家をPTAや学校に紹介するなどして連携を図り、インターネットによる被害を最小限に抑え、未然防止に力を入れている。今後は、教職員や保護者、地域の大人がネットの危険性などについて学ぶ機会を様々な場面で設け、被害防止の取り組みを一層強化していく必要があると考える。

## 教育



西地域の中学校の1つ気高中学校

## 子どもたちを取り巻くネット環境について



平野真理子  
(公明党)

る。



現在の市役所本庁舎

## 学校の冷房化への指針について



中西 照典 (新)

**問** 学校の夏季の猛暑対策として、小・中学校の児童・生徒の良好な学習環境を維持し、適切な教育活動を実施するため、温かい風を循環させるだけの扇風機設置はやめて、冷房化を推進すべきではないか。

少なくとも、中学校3年生の教室においては、早急に冷房化に取り組むべきと考えるがどうか。



小学校の教室に設置された扇風機

**答** (市長) 暑い気候の中で集中して学業に専念する場合、冷房を切実に望まれることは理解しており、このことはしつかりと受け止めたい。

全体の事業費も考え、特に暑い地域に限っては、こ

うした整備に国や県からの助成ができないのかどうか、学校の耐震改修を実施する中で冷房化に取り組めるかどうかなど、どのようにすれば冷房化が可能になるのかを十分に検討したい。

## 農林水産業の活性化について



中村 晴通 (結)

**問** TPP参加による本市の産業への影響について、多くの市民が不安に感じている。特に農業関係団体などは、強く反対してこれらに市長はこれまでTPP参加に対して賛成か反対かはっきりした態度を示してこられなかったように思

う。この際はっきりとTPP参加に対し反対の表明をされ、また国に働きかけるべきと考えるがどうか。

**答** (市長) 国においてTPP参加の動きがあるが、対応する新たな農業の支援策が明確になっていないという現状からTPP参加に賛成することはできないということは、従前から明らかにしてきている。また、平成26年度の国県への提案要望の中には、TPPについて関税撤廃の例外品目の設定や農業支援策の拡充を要望としてとりまとめているところである。

## 農業振興プランについて



下村 佳弘 (清和会)

**問** 日本のブランド和牛のルーツであり、次世代を担う血統として全国的に認められている和牛「気高号」の子孫が、今回の全国和牛能力共進会で優勝した宮崎県をはじめ、多くの県でブランド和牛として育成されている。いまだに発展途上の気高号の血統をどう育て、ブランドとして発信していくのか尋ねる。

**答** (市長) 県では、伝説の名牛・気高号を前面に出して、鳥取和牛オレイン55のブランド化を図っている。

また、JA鳥取いなばにおいても、名牛・気高号を輩出した風土を強調し、因幡和牛のブランド化を図

ている。

本市では、優良な雌牛の保留や増頭に伴う施設整備への支援を行いつつ、JA鳥取いなば等と連携し、これらのブランド化を図っていききたいと考えている。



「気高号」の血統を引き継ぐ牛肉  
「鳥取和牛オレイン55」

※鳥取市農業振興プラン  
平成25年4月に策定。農業の担い手、農地集積、特産品化などの課題解決を図るため、農業者をはじめとする関係者が、本市の農業振興の方針や施策を体系的に認識し、連携して取り組むためのプラン。



## 湖山池の水質問題について



長坂 則翁 (無所属)

**問** 湖山池の汽水湖化に向けて、住民説明会では塩分濃度を水門操作によって2,000ppmから5,000ppmの範囲内におさめるとのことであったが、現在は7,000ppmを長期間超えている。どのように認識しているのか。また、野菜・果物などの作物被害が発生しており、事前に塩害を見据えた栽培指導を行うべきではなかったのか。今後の対策も含めどのように考えているのか尋ねる。

**答** (環境下水道部長) 塩分濃度上昇の原因としては、船通し水門を常時開放したことや降雪量が少なかったことなどが考えられ

る。本年5月からは、樋門操作の変更等を行い海水の遡上を抑制する方策に移行した。

(農林水産部長) 野菜等の潮風害については事前に被

害の想定ができず説明もしていなかった。今後は暴風ネットの設置等被害対策も含め、関係住民へ情報提供を行っていきたいと考えている。

## 福祉・健康

### 胃がん対策について



田村 繁巳  
(公明党)

**問** 胃がんの大きな要因は、ヘリコバクター・ピロリ菌(以下「ピロリ菌」と言われている。このたび、ピロリ菌除菌治療の保険適用の範囲が慢性胃炎などにまで拡大されたが、治療を受けるためには、ピロリ菌検査の推進が必要である。本市の健診施策の取り組みと市立病院が実施する

**胃がんリスク検診について尋ねる。**

**答** (健康・子育て推進局長) ピロリ菌除菌治療に結びつけるためには、胃がん検診による病気の早期発見が重要となるため、今後受診率の向上に努めたい。

(市立病院事務局長) 平成25年4月から開始した胃がんリスク検診では、ピロリ菌感染とペプシノゲン検査を組み合わせて、胃がんになりやすいかどうかを判定する。健診開始に当たり、市報、市立病院ホームページなどで広報しているが、今後も多くの人が受診するよう周知に努めたい。

### 障がい者の地域社会での共生実現に向けての福祉政策について



島谷 龍司  
(新)

**問** 知的障がい、精神障がいなどの理由により判断能力が不十分な方々に代わり財産管理や契約手続きを行う成年後見制度は、障がい者が地域で生活していく上でなくてはならないものだが、この制度をどのように推進していくのか。

また、障がい者に対する虐待を防止するためにどのような対策を講じていくのか尋ねる。

**答** (市長) 権利擁護に関する相談支援事業や成年後見人活動を支援されているとつとり東部権利擁護支援センターと連携し、市民後見人の養成に取り組んでいきたい。障がい者虐待は、

発生を防ぐ環境づくりと、虐待を早期に発見し対応することが重要である。今後家族などの擁護者や障がい福祉サービス事業所、民生児童委員等に対し研修会等を開催し、障害者虐待防止法の周知、権利擁護についての啓発、障がいや障がい者虐待に関する正しい理解の普及を図ってきたい。

## 環境

### 可燃物処理施設について



児島 良  
(結)

**問** 本年2月定例会で市長は「平成29年4月に新しい可燃物処理施設の稼働を目指す。重大な決意で臨む。そのためのスケジュールとして用地買収の期限は今年夏だ」と答弁された。も

発生を防ぐ環境づくりと、虐待を早期に発見し対応することが重要である。今後家族などの擁護者や障がい福祉サービス事業所、民生児童委員等に対し研修会等を開催し、障害者虐待防止法の周知、権利擁護についての啓発、障がいや障がい者虐待に関する正しい理解の普及を図ってきたい。



とつとり東部権利擁護支援センター  
(アドサポセンターとつとり)

し、期限を過ぎた場合、今後のスケジュールはどうなるのか。

また、目途がたない場合はどのような責任をとる決意なのかを尋ねる。

**答** (副市長) 早期の用地取得に向け関係集落と引き続き話し合いを進めていきたいと考えており、現在のところスケジュールを変更することは考えていない。

(市長) 予定どおり新しい可燃物処理施設を平成29年4月に稼働させるよう、用地買収や敷地造成などを期

### 湖山池の汽水化実施による効果と課題について



石田 憲太郎  
(公明党)

限に間に合わせて整備することが課題であり、1市4町、執行部と議会が一緒になって実現に向け前進したい。

**問** 平成24年3月より湖山池の水質改善の対策として汽水化の取り組みが実施された。東郷池と同程度の塩分濃度を設定したが、想定以上の高塩分濃度となり弊害が出ている。

樋門の調整手法が不十分だったのではないかと考えるが、今後の樋門管理について尋ねる。

**答** (環境下水道部長) 湖山池につながる湖山川には第1・第2樋門、船通しの3つの樋門がある。従来

は、池から海に水が流れる順流時は3つの樋門とも開放し、海水が池に流れる逆流時は第1・第2樋門を閉鎖し、船通しは開放していた。平成25年5月23日からは、塩分の上昇を抑えるため、第1・第2樋門の操作に加え、それまで開放のままであった船通しを部分開放し、海水の遡上を抑制している。

現在、塩分を抑制する方策について更なる検討を行っている。



汽水化が実施された湖山池

## 行財政改革

### ファシリテイマネジメント機能強化への取り組みについて



有松 数紀 (新)

**問** 第5次行財政改革後期計画におけるファシリテイマネジメント機能の強化に

関する今後の組織体制及び機能強化の進め方について尋ねる。

また、平成26年度の策定として「市有施設等の総量適正化計画」の考え方について尋ねる。

**答** (市長) 平成25年度の組織改革で財産経営課を設置し、ファシリテイマネジメント担当者も3人配置するなど職員体制を強化した。今後は、総務調整監、財

産経営課を中心に鳥取市行財政改革推進本部のもとで、全庁を挙げてファシリテイマネジメントに取り組む。

(総務調整監) 今後データ収集を行い正確な計画を立てることとなるが、現在の総量適正化計画の内容としては、住民サービスを維持しつつ施設を縮減する考え方としている。

なお、計画策定に当たっては、市民への情報提供や市民政策コメントを実施して進めたい。

※ファシリテイマネジメント市有財産(土地、建物、構築物、設備など)すべてを、最適な状態で保有し、運営・維持するための総合的な管理方法のこと。

### 市長の経営センスについて



木村 和久 (結)

**問** 現在、厳しい財政状況の下で多額な支出を強いる事業が相次ぐが、合併特例債に財源を求めるため、すべてにおいて安易で性急な感じがする。

市長の事業執行には不要、不急、市民の最小負担、持続の物差しが欠けているのではないかと考えるが、市長の所見について尋ねる。

**答** (市長) 現在、市が行う幾つかの事業について、議員は不要・不急の事業と断じるようであるが、全く誤った認識だと思っている。思い付きではなく、計画的に検討し、実施しているものである。

今後も、事業実施に当たっては、地元の皆さんに説明し理解を得られる努力を行い、それが将来どのような効果をあげられるのかといったことも十分に展望しながら事業を行っていくことが必要であると考えている。

## 経済・雇用

### 鳥取自動車道を活かした観光振興について



寺坂 寛夫 (新)

情報発信拠点整備は非常に重要になると考える。本市は、平成16年度から大阪に鳥取市関西事務所を置き、関西圏、山陽地域などに、本市の魅力の情報発信を行っているほか、中京圏では名古屋まつりに参加し、誘客に取り組むこととしている。

**問** 鳥取自動車道全線開通に伴い、観光振興についての誘客は、従来関西・山陽方面が主流であったが、今後は中部圏や九州などへの広域的な誘客情報発信拠点整備にも取り組むことが必要であると考えている。広域的な県外からの入込客増加への誘客策について所見を尋ねる。

また、長崎県佐世保市のハウステンボスに砂像を展示しているが、「砂像のまち鳥取市」を九州にもアピールし、誘客につなげた。今後とも広域的な観光戦略や誘客の取り組みに努力を重ねていく。



本年3月に全線開通した鳥取自動車道



## 非正規職員等の労働条件の整備について



棕田 昇一 (結)

**問** 少子・高齢化や家庭崩壊が大きな社会問題になっている中、家族の絆と支え合いが培われ、子供を安心して産み育てられる環境の整備は喫緊の課題である。本市が直接雇用する非正規雇用職員にも「育児休業」制度を創設し、「子の看護休暇」や「短期介護休暇」を有給化することが必要と考えるがどうか。

**答** (総務部長) 非正規雇用職員のうち、臨時的任用職員は育児休業制度の必要性は低い。非常勤職員については、仕事と育児の両立を図る観点などから、今後、導入に向け検討を進めていきたい。

「子の看護休暇」と「短



窓口業務に当たる市職員

期介護休暇」は、国は人事院規則で無給と定め、地方

公務員法では職員給与以外の勤務条件を決める際は、国や他の地方公共団体との権衡に考慮するよう定められており、引き続き慎重に検討していきたい。

※臨時的任用職員(臨時職員) 6月を超えない期間で任用することができ、6月を超えない期間で更新することができ、再度更新することは出来ない。最長1年間任用可能。

※非常勤職員(嘱託職員) 本市では、1年間を超えない期間で任用することができ、再度更新することができ、最長5年が経過する月の属する年度末まで任用可能。

## 国際交流

### 国際交流に関連して



上杉 栄一 (新)

**問** 韓国・清州市との中学生交流事業は本年度再開予定であったが、清州市側よ

り延期する旨の連絡があった。過去、本市と清州市との交流は教科書問題、竹島問題などが韓国で浮上する度に中断されている。今後の清州市との交流について、市長の見解を尋ねる。

**答** (市長) 清州市との中学生交流事業では、訪問と招致を相互に行い、中学生とその家族が文化や言語の



平成19年の清州市との中学生交流事業

※清州市は、韓国忠清北道に属している。

壁を乗り越え、友情の絆を深めてきた。この交流事業が韓国忠清北道の清州教育支援庁の予算の削減により、延期されることになったことは誠に遺憾なことから受けとめている。

本市は、両市の次代を担う中学生の国際理解を促進すると考えてきたが、今後の忠清北道との交流事業の考え方を再度確認する必要があると考えている。

## 安全・安心

### 大路川水系の各種警報及び勧告発令の見直しについて



岡川 洋々 (結)

**問** 大路川水系における洪水に関する各種警報、勧告発令等は河川改修工事完成前の古い水位基準で発令されており、地区の消防団や住民を混乱させている。早急な対応を県や市に申し入れているが、水位基準の見直しはいつになるか尋ねる。

**答** (市長) 大路川を管理する県からは、西大路橋より下流区間では新たに設置される吉成水位観測所の稼働に合わせ、本年6月中旬に新しい水位設定を行い、大



改良が進められる大路川

路川上流部では、簡易水位計の設置によりデータを蓄積して判断したいと聞いている。

県は本年6月28日米里地区、6月29日美保南地区、7月4日美保地区で開催される防災学習会の中で大路川流域の防災対策について説明することとしているが、本市も説明会に同行し、地域住民の理解に努めたいと考えている。

# 委員会視察報告

委員会の所管事務の先進事例や類似事例などを視察調査することによって、識見を高め、その視察成果を市政の課題解決に活かすため、各委員会では行政視察を行っています。

その結果がまとまりましたので報告します

## 6月定例会で審査された 請願・陳情

### 請願

#### 《採択となったもの》

- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出を求める請願  
(理由) 趣旨が妥当と認められるため

#### 《不採択となったもの》

- 生活保護の基準引き下げをしないように国に求める意見書提出を求める請願  
(理由) 国においてすでに基準額の変更の方針が示されているため

### 陳情

#### 《採択となったもの》

- 観光用パンフレット等に掲載の「日本海」と「日韓」表記に関する陳情  
(理由) 趣旨が妥当と認められるため

#### 《不採択となったもの》

- 違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情  
(理由) 事実確認が困難であるため
- 業務委託の要望についての陳情  
(理由) 本市と岩美町との協定に基づいた業務であり、本件は岩美町が判断し解決されるべき問題である
- デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書提出を求める陳情  
(理由) 最低賃金の大幅引き上げや全国一律最低賃金制度の確立など、非現実的な事項が盛り込まれているため
- 日本のTPP（環太平洋連携協定）交渉への参加反対を求める陳情  
(理由) 国益が確保できない場合は脱退する方針で交渉参加することとしているため
- 子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情  
(理由) 現在の保育需要を満たすためには早急な対応が必要と考えられるため
- 年金2.5%の削減中止を求める意見書提出を求める陳情  
(理由) 現行の年金制度維持・持続には特例水準の解消は必要と考えられるため

## 議会運営委員会

(平成25年4月10日～4月12日)

埼玉県所沢市	議会改革について
神奈川県茅ヶ崎市	議会改革について
東京都町田市	議会改革について

視察先で取り組んでいる議会報告会や市民懇談会等は、市議会に対して市民の関心を持っていただくという点で非常に有効な取り組みであると考えます。本市議会においてもこれらの取り組みを参考に、市民の意見を市政に反映したいと考えます。

## 福祉保健委員会

(平成25年4月23日～4月25日)

山梨県都留市	看護師養成教育機関の開設に向けた基本方針について
神奈川県相模原市	生活保護受給者への自立支援の取り組みについて
東京都足立区	生活保護受給者への自立支援の取り組みについて 成年後見人制度と市との関わりについて

相模原市では、生活保護受給者者に寄り添い、個々の状況に応じ、きめ細かな就労支援・学習支援・日常生活への支援を行っている。また、切れ目のない継続した支援となるよう仕組みが構築されている。本市も生活保護受給者や生活困窮家庭の自立支援に向け、参考にしたい。

## 総務企画委員会

(平成25年4月22日～4月24日)

山口県岩国市	集落支援事業について
熊本県熊本市	シティブランド戦略プランについて
岡山県倉敷市	ファシリティマネジメントの取り組みについて

倉敷市では、ファシリティマネジメントの手法を積極的に活用し、継続使用すべき施設の長寿命化、過剰資産の解消に取り組んでいる。公共施設の維持管理業務の一元化、維持管理コスト縮減のための長期的な取り組みは、本市も参考にすべきと考えます。

## 建設水道委員会

(平成25年4月22日～4月24日)

N E D O	洋上風力発電について
東京都武蔵野市	ごみ減量化について
富山県高岡市	簡易水道事業と水道事業の統合について
石川県金沢市	街なか定住と空き家バンクについて

武蔵野市では、事業系ごみ対策のため、生ごみの全量資源化の実施、廃プラスチックの分別徹底、雑紙の資源化、搬入検査、多量排出業者への減量化計画書の提出等参考になる点が多かった。また、焼却灰は全量エコセメント化されており、本市においても十分検討する必要があると感じた。

## 文教経済委員会

(平成25年4月22日～4月24日)

福井県福井市	企業誘致について
茨城県つくば市	食のブランド戦略について、6次産業化について
兵庫県姫路市	小中一貫教育について

(株)伊賀の里モクモク手づくりファームでは、20年以上前から6次産業を展開し、研修生の受け入れも行っている。地域とのつながりを大切にしながら、自ら価格を決定することのできる価値競争の場に見出した同社の取り組みは、本市の農業振興に参考とすべきと感じた。

## 平成25年第2回鳥取市議会臨時会附議案等議決結果

(平成25年5月16日)

区分	議案番号	案 件 名 (概要)	議決結果
予算 (1件)	83	平成25年度鳥取市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
	84	鳥取市土地開発基金条例の一部改正について	原案可決
条例 (3件)	85	鳥取市公民館条例の一部改正について	原案可決
	86	鳥取市少年愛護センター条例の一部改正について	原案可決
その他 (2件)	87	新市まちづくり計画の変更について	原案可決
	88	工事請負契約の締結について(鳥取市立白兔保育園改築(建築)工事)	原案可決
専決処分 報告承認 (6件)	89	専決処分事項の報告及び承認について(平成24年度鳥取市一般会計補正予算(第13号)外2会計専決処分の報告及び承認(平成25年3月29日専決))	承認
	90	専決処分事項の報告及び承認について(平成24年度鳥取市下水道等事業会計補正予算(第3号)専決処分の報告及び承認(平成25年3月29日専決))	承認
	91	専決処分事項の報告及び承認について(平成24年度鳥取市病院事業会計補正予算(第3号)専決処分の報告及び承認(平成25年3月29日専決))	承認
	92	専決処分事項の報告及び承認について(鳥取市事務分掌条例の一部改正について専決処分の報告及び承認(平成25年3月29日専決))	承認
	93	専決処分事項の報告及び承認について(鳥取市国民健康保険条例の一部改正について専決処分の報告及び承認(平成25年3月29日専決))	承認
	94	専決処分事項の報告及び承認について(鳥取市税条例の一部改正について専決処分の報告及び承認(平成25年3月30日専決))	承認
報告 (3件)	3	専決処分事項の報告について(平成25年2月27日公用車が徳尾地内の高草中学校前において、停車中の相手方車両の前部を破損した物損事故の損害賠償額及び和解について報告するもの。(平成25年3月25日専決))	報告
	4	専決処分事項の報告について(平成25年1月30日市立桜ヶ丘中学校校庭において生徒が投球したボールが防球ネットを越え、隣接する店舗の駐車場に駐車していた相手方車両の後部を破損したことに対する損害賠償の額及び和解について報告するもの(平成25年4月18日専決))	報告
	5	専決処分事項の報告について(平成25年1月23日公用車が国府町奥谷入口交差点で停車中の相手方車両の右前部を破損した物損事故の損害賠償額及び和解について報告するもの(平成25年4月25日専決))	報告

## 平成25年6月鳥取市議会定例会附議案等議決結果

区分	議案番号	案 件 名 (概要)	議決結果
予算 (5件)	95	平成25年度鳥取市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
	96	平成25年度鳥取市簡易水道事業費特別会計補正予算(第1号)	原案可決
	97	平成25年度鳥取市国民健康保険費特別会計補正予算(第1号)	原案可決
	98	平成25年度鳥取市電気事業費特別会計予算	原案可決
	108	平成25年度鳥取市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
条例 (6件)	99	鳥取市鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例の制定について	原案可決
	100	鳥取市立児童館条例の一部改正について	原案可決
	101	鳥取市地域活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
	102	鳥取市特別会計条例の一部改正について	原案可決
	109	鳥取市行政財産使用料条例の一部改正について	原案可決
	110	鳥取市自然休養村施設の設置及び管理に関する条例の廃止について	原案可決
その他 (4件)	103	財産の無償譲渡について(松並児童館を地縁による団体に無償で譲渡するもの)	原案可決
	104	財産の無償譲渡について(鳥取市佐治町栃原生活改善センター及び鳥取市佐治町森坪多目的集会所を地縁による団体に無償で譲渡するもの)	原案可決
	105	工事請負契約の締結について(鳥取市立美和保育園改築(建築1期)工事)	原案可決
	111	財産の処分について(処分する財産 土地15,150.88㎡ 建物 レーク大樹3,857.07㎡ 鳥取市自然休養村センターつづらを荘944.45㎡ 処分金額 金75,000,000円 処分の相手方(株)マルフ)	原案可決
人事 (2件)	106	鳥取市固定資産評価員の選任について((新任)横尾 賢二)	同意
	107	人権擁護委員候補者の推薦について((新任)谷口 毅)	同意
報告 (5件)	6	繰越明許費繰越計算書について	報告
	7	平成24年度鳥取市水道事業会計予算の繰越しについて	報告
	8	平成24年度鳥取市下水道等事業会計予算の繰越しについて	報告
	9	出資法人の経営状況を説明する書類の提出について	報告
	10	専決処分事項の報告について(平成25年4月29日中学校の部活動中に、部員が蹴ったボールが国道9号線を走行してきた相手方車両に当たり破損させた事故に係る損害賠償の額及び和解について報告するもの(平成25年5月22日専決))	報告
委員会提出 (1件)	2	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決

# 議会改革検討委員会

平成25年2月定例会に設置された議会改革検討委員会で、平成25年6月末までに6回の委員会を開催し、議長から諮問された事項の調査・研究を行っています。

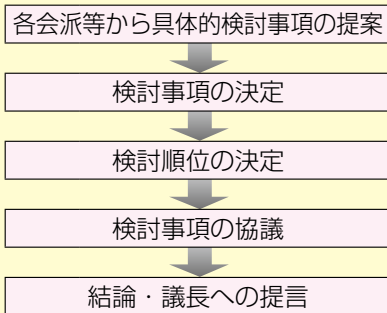
委員会で、まず議長からの諮問事項及び委員会の進め方を確認した後、具体的検討事項として各党派等から延べ41項目の提案を受けました。このうち、同趣旨の提案を整理し、改選前の議会改革検討会からの継続検討事項（5項目）を加

## 市庁舎整備に関する調査特別委員会

既報のとおり、平成25年1月16日に市庁舎整備に関する調査特別委員会を設置しました。

本年7月2日までに、9回の委員会を開催し、執行部より市庁舎整備専門委員会、鳥取市庁舎整備推進本部での議論の報告を受け、市庁舎整備のあり方について、議論、意見交換を行なっています。

### 検討委員会の進め方



※議長は議会改革検討委員会からの提言を受け、議会運営委員会に対し諮問を行います。

※具体的検討事項の提案を受けたもののうち、既に制度上実施可能なもの、議会広報委員会の所管に属するもの、明らかに検討委員会での検討内容にそぐわないものなどは、検討を行わないこととしました。



### 訃報

## 川瀬議員ご逝去



去る6月7日、鳥取市議会議員の川瀬滋子氏（会派「結」）が、逝去されました。川瀬氏は、平成18年、市議に初当選し、任期中は、地産地消の啓発・普及をはじめ、女性が自立し社会活動や政治に参加する男女共同参画の体制づくりにも努められ、現在2期目でご活躍中でした。ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



### 表紙作品を募集しています

市民に親しまれる市議会だよりの一環として、市議会だよりの表紙作品（写真・絵手紙）を募集します。題材は、「ととりの秋」です。

詳しくは、鳥取市議会のホームページ <http://www.city.tottori.lg.jp/> をご欄になるか、事務局にお問い合わせください。

### 8月定例会のお知らせ

8月27日(火)	開会・提案説明 決算審査特別委員会
28日(水)	休会
29日(木)	一般質問
30日(金)	一般質問
31日(土)	休会
9月1日(日)	休会
2日(月)	一般質問
3日(火)	常任委員会
4日(水)	決算審査特別委員会
5日(木)	一般質問
6日(金)	一般質問・質疑・委員会付託
7日(土)	休会
8日(日)	休会
9日(月)	常任委員会
10日(火)	休会
11日(水)	常任委員会
12日(木)	常任委員会
13日(金)	委員長報告討論採決 決算審査特別委員会
14日(土)	休会
15日(日)	休会
16日(月)	休会
17日(火)	決算審査特別委員会（総括質疑）
18日(水)	決算審査分科会
19日(木)	決算審査分科会
20日(金)	決算審査特別委員会
21日(土)	休会
22日(日)	休会
23日(月)	休会
24日(火)	休会
25日(水)	委員長報告・討論採決・閉会

※一般質問は、いなしはじょうびんネット（電話）で受け付けます。  
※この日程は変更になる場合もあります。